

横浜市港南区地区センター

指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録

開催日時	令和3年8月16日（月） 10時15分から11時15分まで
開催場所	区役所 602 会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、小川委員、小後摩委員、谷本委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	はじめに（横浜市桜道コミュニティハウスの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	<p>1 面接審査</p> <p>1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。</p> <p><応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの配置については、安全・安心な体制を組み、緊急通報システムを導入して緊急事態が発生した時に対応できるようにする。 ・各館に生涯学習コーディネーターを配置し、港南区民活動支援センターのランチ施設として活動団体設立や活動の活性化の支援などコーディネート機能を強化する。近隣施設と連携した活動展なども検討している。 ・異世代交流の場、子どもや高齢者を見守る場所、子育て支援の場など繋がりづくりを意識した施設運営を進める。 ・Web予約システムを導入し、利用者サービスの向上に努める。 ・来館したことのない男性や65歳以下の女性への広報やPRを積極的に行い、新規利用者の増加を目指す。 ・住み慣れた地域の新たな交流のきっかけを楽しみにしてもらえそうな自主事業を企画する。 <p>2 審議</p> <p>第4期横浜市桜道コミュニティハウスの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定した。</p> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進策を項目ごとに計画しているところが良かった。 ・Web予約の導入や、コミュニティハウスならではの小回りの利く地元密着型の事業が多く良いと思った。 ・自主事業終了後のグループの立ち上げ支援について、しっかりとしていて良かったが、一方で継続支援については、もう少し工夫する必要があるのではないかと感じた。 ・近隣施設との連携や機能分担については評価できるが、具体的な計画があると良いと思った。 ・桜道コミュニティハウスを知らない人に対するPRにより力を入れると良いと思った。 ・緊急通報システムを導入しているところに好感を持てたが、スタッフの夜間配置については、防犯面のみだけでなく、利用者とのトラブル対応を念頭に置いた対策が不足していた。

審議結果	・一社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市桜道コミュニティハウス指定管理者の指定候補者とする（572点/800点）。
特記事項	特になし